

令和5年石巻市議会第1回定例会提出議案について

<市長コメント>

第1回定例会提出議案の主な内容について御説明いたします。

初めに、条例議案の主な項目として、「石巻市犯罪被害者等支援条例」について、御説明いたします。

平成17年4月に犯罪被害者等の権利利益の保護を目的として施行された、「犯罪被害者等基本法」の趣旨を踏まえ、本市においても犯罪被害者等の支援に関し、基本理念を定め、市、市民等及び事業者の責務や、支援の基本となる事項を定めることにより、犯罪被害者等が安全で安心して暮らすことのできる地域社会を実現するため、本条例を制定するものです。

次に、「石巻市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例」について、御説明いたします。

本市では、デジタル技術を活用し、仕組みやルールの変革により「市民サービスの利便性向上」と「効率的・効果的な行財政運営」を実現することを目的として、令和3年12月に「石巻市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進方針」を策定し、行政手続のオンライン化等に取り組んでおりますが、

本市における行政手続等のオンライン化を推進するための制度整備として、令和元年12月に改正された「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」に準じて、本市のDXを推進するため、本条例の一部を改正するものです。

その他、条例議案といたしましては、「石巻市特別会計条例の一部を改正する条例」、「石巻市手数料条例の一部を改正する条例」、「石巻市行政財産の用途又は目的外使用に係る使用料に関する条例の一部を改正する条例」など計18件でございます。

次に、令和5年度当初予算について御説明申し上げます。

令和5年度予算は、「持続可能な財政基盤の確立」を図ることを基本方針とし、「復興予算から通常予算への転換」、「歳入に見合った歳出予算」、「事務事業の厳選と財政規律の強化」の3つの方針を掲げ、本市の将来を見据え、限られた財源の中、健全で持続可能な財政運営を目指した予算編成といたしました。

それでは、令和5年度に取り組む「6つの重点施策」について、その概要を御説明申し上げます。

一つ目は、「全ての世代が生きがいを持って活躍できるまちづくり」についてであります。

市民の誰もが生きがいを持って生活するため、多彩な祭りやスポーツ、文化芸術活動を通じて、多くの方々が楽しみ、生き生きとして活躍できる魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

本市最大のイベントである「石巻川開き祭り」は、第100回の記念すべき大会となりますことから、市民の皆様と力を合わせ、記念大会にふさわしい祭りとなるよう取り組んでまいります。

また、本年3月に設立予定の「(仮称)いしのまきスポーツコミッション」の運営体制を支援するとともに、「石巻市総合運動公園陸上競技場」につきまして、関係団体等を交えた調査・検討を行いながら、「基本計画」を策定するなど、官民連携の下、スポーツを通じた地域活性化に向け、戦略的に取り組んでまいります。

さらに、各地域の歴史や文化等を育む魅力ある祭り等の開催や文化芸術活動の拠点である「マルホンまきあーとテラス」の活用により、市内外からの誘客を図るほか、「高齢者の生きがいづくり」や「豊かな自然保護と魅力の発信」、「SDGsの推進」など、市民が生きがいを持って活躍できるまちづくりの実現に向け、取り組んでまいります。

二つ目は、「安全・安心なまちづくり」についてであります。

近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発する中、災害から市民の命と暮らしを守るため、ハード面とソフト面の対策を組み合わせた総合的な防災・減災対策に取り組んでまいります。

昨年5月の「宮城県津波浸水想定」の公表を受け、今年度中に地域防災計画の見直しや津波ハザードマップの作成を行うほか、長期化する新型コロナウイルス感染症への対応として、社会経済活動への影響等も踏まえつつ、医療提供体制の確保などに取り組んでまいります。

また、「石巻市犯罪被害者等支援条例」を制定し、犯罪被害者等が受けた被害の早期回復と軽減に努めるほか、「市民の健康・命を守る医療体制の充実」や「介護従事者の働く環境整備と人材育成の強化」、「地域共生社会の実現」を図るなど、市民が安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向け、取り組んでまいります。

三つ目は、「人口減少対策と地域コミュニティの強化」についてであります。

少子高齢化に伴う人口減少対策として、出生率の向上や子育て環境、教育環境の充実を図るほか、移住定住や関係人口の創出、地域住民の安定的な暮らしの確保など、市民の皆様がずっ

と住みたい地域づくりの実現に向け、様々な施策を組み合わせ、総合的に取り組んでまいります。

まず、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備に向け、「出産・子育ての伴走型相談支援」及び「出産・子育て応援給付金」事業を早期に実施するほか、保育環境の整備として、「第2期石巻市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画」に基づき、民間事業者の積極的な誘致や公立施設の統廃合を推し進め、保護者のニーズに即した幼児教育・保育の充実を図ってまいります。

また、移住体験機会を提供する「お試し移住事業」や、住宅取得費用等を支援する「定住促進住宅取得等補助事業」を実施するほか、「脱ペーパードライバー支援補助金」を創設するなど、「移住促進と関係人口の創出」に向け取り組んでまいります。

さらに、「ずっと住みたい地域づくり支援事業」により、地域住民の力や知恵を活かした、住民自治組織の設立に向けた支援を行うなど、地域の実情に合わせ、地域住民の負担軽減を図るほか、誰もが生活する中で利用しやすい「公共交通ネットワークの整備」に取り組んでまいります。

四つ目は、「産業の発展と雇用創出」についてであります。

水産業や農業などの第1次産業では、担い手の高齢化や後継

者不足が進んでおり、若者の流出抑制、定住促進を図るため、就業相談や就業機会の提供、独立支援など「第1次産業における担い手の育成」に取り組むほか、本市の優れた農林水産物のブランド力の向上、地域資源や新素材・新技術の利活用による新商品開発や6次産業化の担い手となる人材育成、地場産業の高度化に取り組んでまいります。

また、本市独自の助成制度や各種優遇制度を活用し、県内外の企業への積極的な誘致活動を展開し、「企業立地と新規創業の促進」を図るとともに「全世代の就労対策と支援」を図るなど、本市産業の発展と雇用の創出に取り組んでまいります。

五つ目は、「物流拠点の形成と新たな観光の構築」についてであります。

海上輸送の拠点である、国際拠点港湾「仙台塩釜港 石巻港区」の機能強化や「石巻新庄道路」の早期実現及び「国道108号石巻河南道路」の整備促進につつまして、関係自治体と連携し、国・県への働きかけを進めるなど、「物流機能の強化」に向け取り組んでまいります。

また、本年4月に供用を開始する「かわまち交流広場」など、「いしのまき水辺の緑のプロムナード」を活用し、中心市街地の賑わいの創出に努めるほか、日本遺産「みちのくGOLD浪

漫」の普及啓発及び活用推進を図り、構成文化財である「金華山詣」及び「金華山道」の認知度向上や機運醸成に向け、市民講座やシンポジウム等の開催、構成文化財の案内板の設置を行うなど、「新たな観光資源の構築と情報発信の強化」に取り組んでまいります。

六つ目は、「広域連携体制の強化」についてであります。

東松島市及び女川町との支援制度の調整をはじめ、2市1町が共同で圏域の魅力を情報発信するなど、「定住自立圏構想の実現」に向け取り組んでまいります。

また、一般社団法人 石巻圏観光推進機構との連携、協力体制を一層強化し、観光客のスタイルを通過型から滞在型に変化させるべく、「みちのく潮風トレイル」や「ツール・ド・東北」など、多彩な地域資源を活用した新たな観光周遊ルートの開発を図るなど、「広域観光の推進」に取り組んでまいります。

この結果、令和5年度予算は、「一般会計」が、721億円、「水産物地方卸売市場事業特別会計^{しじょう}」を始めとする4特別会計の合計が、337億円、「病院事業会計」が、60億円、「下水道事業会計」が、153億円、全会計の総額では、1,271億円の予算規模となっております。

本市の将来を見据え、職員一丸となり行財政改革を推し進めるとともに、財政規模及び人口規模に見合った予算編成を行うことで、「持続可能な行財政運営」に努めてまいり所存であります。

その他、条例外議案といたしまして、「指定管理者の指定の変更について」、「財産の無償譲渡について」、「工事委託に関する年度協定の締結について」、「工事請負契約の一部変更について」など計16件でございます。

以上が、第1回定例会に提案いたします主な内容であります。